

ラジオカセットコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TCM-F48

Sony Corporation © 1997 Printed in China

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

主な特長

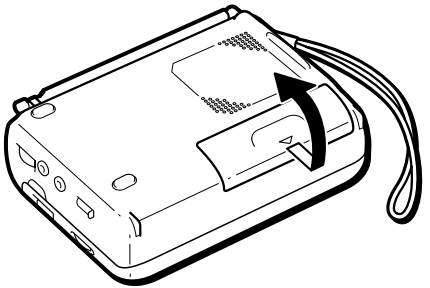
- TV/FM/AMの3バンドチューナー
- 発言者の声を明瞭にとらえるBoundary effect^{パワダグリー エフェクト}取音方式の、Flat Mic^{フラットマイク}内蔵。
- 大音量スピーカー(モノラル)。
- 3段階のランプで知らせる、録音/電池残量ランプと電池を交換するときを知らせるLED(電池交換お知らせ)ランプ。
- 再生時のテープスピードを約+30～-20%の範囲で速めたり遅めたりできる、テープスピード調節機能。
- 会話と音楽にそれぞれ適した再生音を選べる、音質スイッチ。
- 再生・録音時にテープの終わりで自動的に動作が止まる、オートシャットオフ機能。
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、ストップポーズリリース機能。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗がありません。

乾電池を入れる

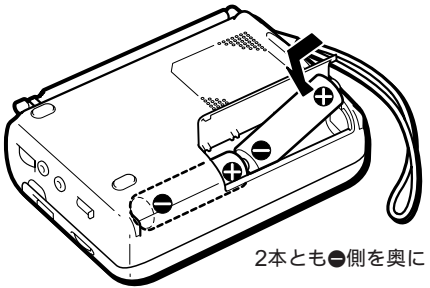
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

1 付属の乾電池を入れる

- ①押しながら矢印の方向へずらし持ち上げる



- ②単3形乾電池を入れる

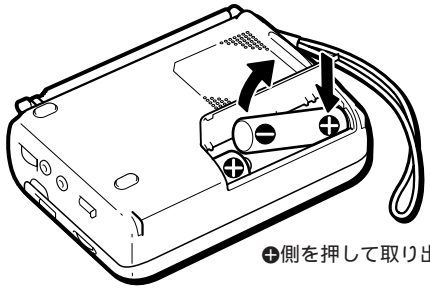


2本とも●側を奥にして入れる

ご注意

新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

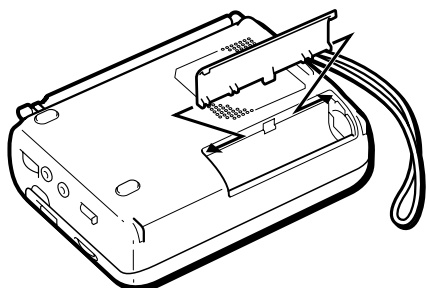
乾電池を取り出すときは



●側を押して取り出す

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のように取り付けてください。

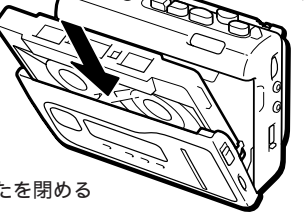


テープを聞く

内蔵スピーカーから音が聞こえます。TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

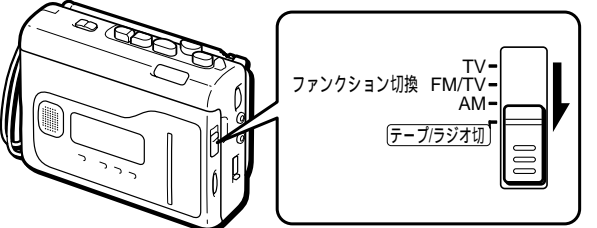
1 カセットを入れる

- ①手でふたを開ける
- ②聞きたい面をふた側にしてカセットを入れる



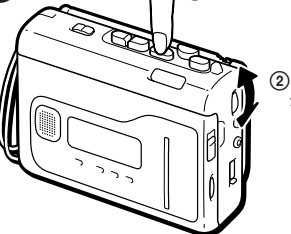
③ふたを閉める

2 ファンクション切換を「テープ/ラジオ切」にする



3 再生する

- ①再生ボタンを押す



- ②音量つまみで音量を調節する

再生面が終わると自動的に止まります。

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
テープを止める	停止
一時停止する	←一時停止 一時停止を解除するには ←一時停止を元に戻す。*
早送りする**	◀◀早送り/キュー
巻き戻す**	▶▶巻き戻し/レビュー
音を聞きながら	再生中に ◀◀早送り/キューを押し続ける
早送りする(キュー)	
音を聞きながら	再生中に ▶▶巻き戻し/レビューを押し続ける
巻き戻す(レビュー)	

* 一時停止は 停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。

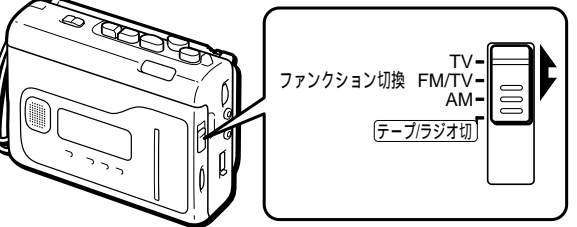
**早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急激に消耗するので、必ず 停止ボタンを押してください。

イヤホンで聞くときは

別売りのイヤホンをイヤホンジャックに差し込みます。

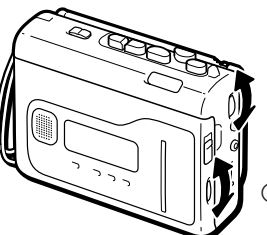
ラジオやテレビの音を聞く

1 「AM」, 「FM/TV」または「TV」を選ぶ



TV(4~12ch): TV
FM/TV(1~3ch): FM/TV
AM: AM

2 放送局を選ぶ



- ②音量つまみで音量を調節する

- ①チューニングつまみを回して聞きたい放送局を選ぶ

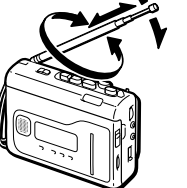
ラジオを止めるには

ファンクション切換スイッチを「テープ/ラジオ切」にします。

受信状態を良くするには

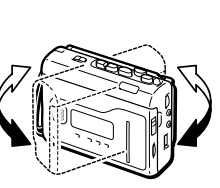
FM放送やTV放送

ロッドアンテナの長さや角度を調節



AM放送

最も良く聞こえる方向に向けてます。



ご注意

- ロッドアンテナを無理な方向に向けようとすると、折れることがあります。
- イヤホンで聞くときは、イヤホンコードがアンテナとして働きます。コードは長く伸ばしてお使いください。

ラジオやテレビを受信中は

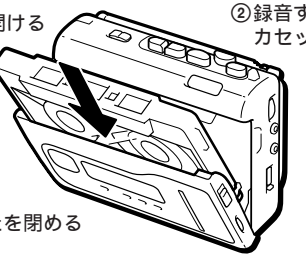
- ラジオやテレビの音声をステレオで聞くことはできません。
- 金属ハーフのカセットテープ、またはラベルが金属製のものをお使いのとき、受信周波数が多少ずれたり、選局がしにくくなったり、AM受信の感度が落ちたりすることがあります。このようなときは、カセットを取り出してください。

ラジオやテレビの音を録音する

録音には必ずTYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

1 カセットを入れる

- ①手でふたを開ける
- ②録音する面をふた側にしてカセットを入れる



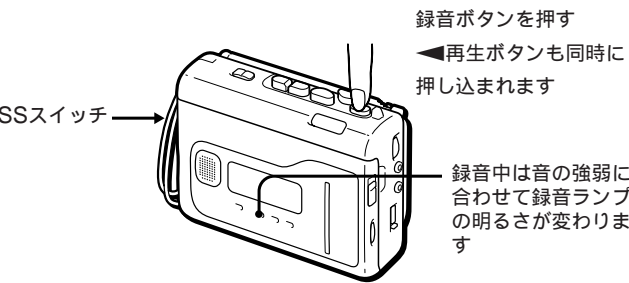
③ふたを閉める

2 録音する局を受信する

「ラジオやテレビの音を聞く」をご覧ください。

3 録音する

録音が終わると自動的に止まります。



録音ボタンを押す
◀再生ボタンも同時に押し込まれます

録音中は音の強弱に合わせて録音ランプの明るさが変わります

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
録音を止める	停止
一時停止する	←一時停止 一時停止を解除するには ←一時停止を元に戻す。*

* 一時停止は 停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。

良い受信状態で録音するには

AM放送を録音中、ラジオを聞いていたときには出なかった雑音(ビート音)が聞こえたら、ISSスイッチを切り換えて、雑音が消える位置(1, 2または3)にしてください。

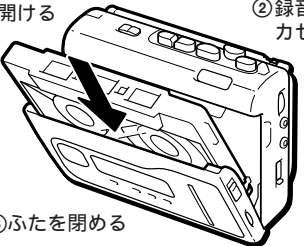
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

内蔵マイクから録音する

内蔵マイクですぐに録音できます。録音にはTYPE I(ノーマル)テープをお使いください。発言者の声をFlat Micで明瞭に録音するために、本機を机などの固い面に水平に置いてください。

1 カセットを入れる

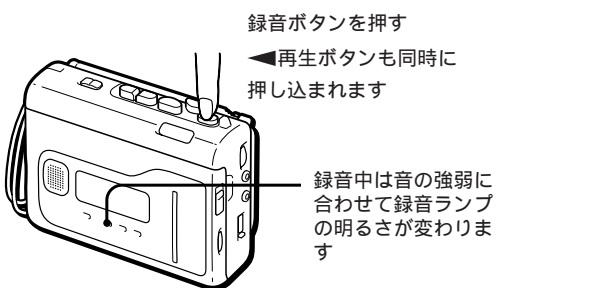
- ①手でふたを開ける
- ②録音する面をふた側にしてカセットを入れる



③ふたを閉める

2 録音する

録音が終わると自動的に止まります。



録音ボタンを押す
◀再生ボタンも同時に押し込まれます

録音中は音の強弱に合わせて録音ランプの明るさが変わります

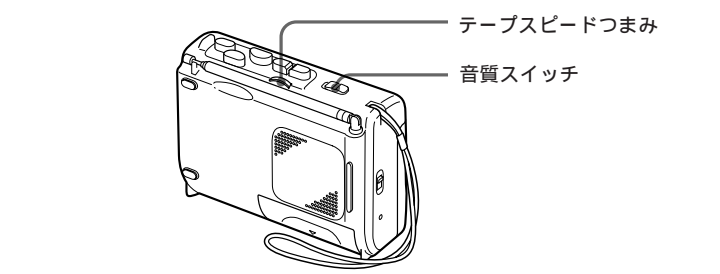
操作	押すボタン、ずらすスイッチ
録音を止める	停止
一時停止する	←一時停止 一時停止を解除するには ←一時停止を元に戻す。*

* 一時停止は 停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。

録音中の音を聞くには

別売りのイヤホンをイヤホンジャックにつないで聞きます。音量つまみで音量を調節します。録音される音は、聞いている音量に影響されず一定です。録音中はスピーカーからは音が出ません。

再生の便利な機能を使う



再生速度を調節する

テースピードつまみを次のように調節してください。

再生速度	つまみの位置
ゆっくり再生する	遅い
通常で再生する	中央(白い線のところ)
速く再生する	速い

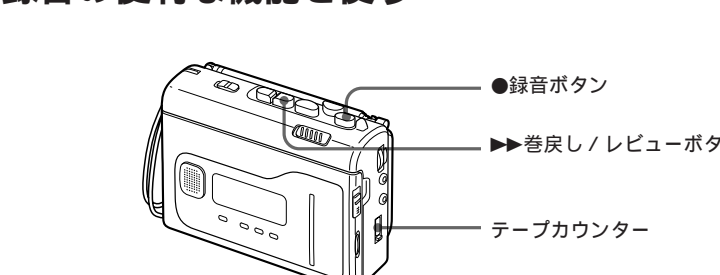
会話や音楽それぞれに適した音で聞く

音質スイッチを次のように調節してください。

再生するもの	スイッチの位置
音楽	音楽
会話など*	会話

*スイッチを会話側にしておくと、人の音声の周波数が強調され、聞きとりやすくなります。

録音の便利な機能を使う



テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。

後追い録音をする

再生中に●録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く(ワンタッチレビュー)

録音中に▶▶巻戻し/レビューボタンを押すとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

テープが終わりまでくると

録音 / 再生状態でテープが終わりまで巻き取られると、自動的にボタンが解除されテープが止まります。(オートシャットオフ機能)

外部マイクや他の機器から録音する

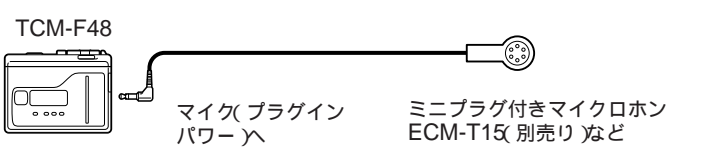
本機で録音中の音を聞くとときは、別売りのイヤホンを使います。

ご注意

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 次の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク(別売り)で録音する

マイクジャックにプラグをしっかり差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うとマイクの電源は本機から供給されます。



本機にカセットを入れ、録音ボタンを押します。

他の機器から録音する

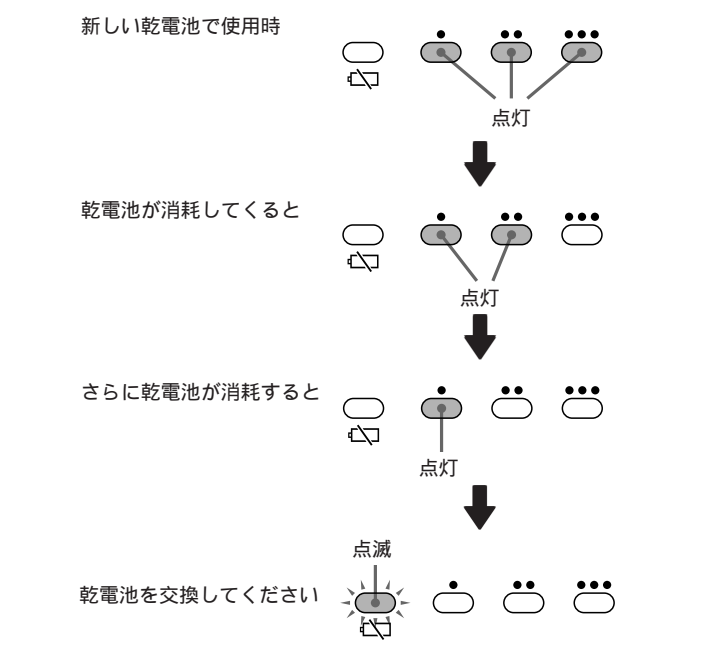


- 本機にカセットを入れます。
- 録音する音を出し、聞きやすい音量にします。(テレビやラジオのREC OUTや🔊ジャックなどから録音するときは、音量を変えても録音には影響しません。)
- 本機の録音ボタンを押します。

電源について

乾電池を交換する時期

乾電池の残量は録音/電池残量ランプでお知らせします。電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。⚡(電池交換)ランプが点滅したら、乾電池は2本とも新しいものと交換してください。



ご注意

- 別売りの充電式電池でお使いの場合、充電してあっても録音/電池残量ランプは左側と中央のみが点灯することがあります。
- 乾電池が消耗してくると、再生中に音量を上げたときなどに録音/電池残量ランプが音に応じてちらつくことがあります。乾電池を交換する必要はありません。
- ⚡(電池交換)ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、内蔵スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- テープの動きはじめやテープの終わりて、⚡(電池交換)ランプが瞬時的に点灯することがあります。ランプがすぐに消えた場合は、乾電池を交換する必要はありません。

乾電池の持続時間 (EIAJ*1)

使用乾電池	ソニー乾電池 R6P (NS)	ソニーアルカリ乾電池 LR6(N)
FM録音時 (EIAJ)	約2時間	約5.5時間
テープ再生時*2 (EIAJ)	約3.5時間	約9.5時間

*1 EIAJ(日本電子機械工業会)の規格による測定値

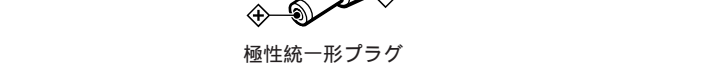
*2 音量8分目程度で再生した場合

乾電池は持続時間の長いアルカリ電池をおすすめします。

コンセントにつないで使う

- ACパワーアダプター AC-E30L(別売り)を本体側面にあるDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

この製品には、別売りのACパワーアダプター AC-E30L(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。それ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

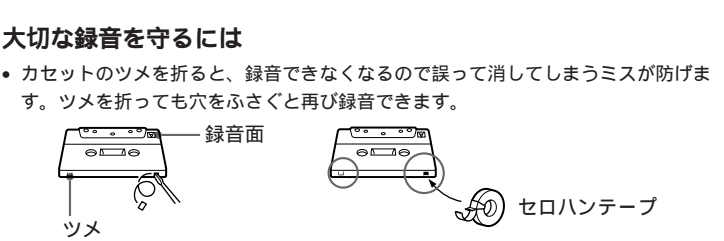
ご注意

録音について

- 録音には必ず TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。TYPE II(ハイポジション)・TYPE IV(メタル)では正しく録音されません。
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使つての録音はできません。
- 内蔵マイクを強く押さないでください。マイクが変形し、雑音の原因となります。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 内蔵マイクで録音中はスピーカーから音は出ません。別売りのイヤホンで聞いてください。
- 録音中の音をイヤホンで聞いているとき、音量を上げすぎるとイヤホンの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります(ハウリング現象)。この場合は音量を下げてください。
- 録音中はテープスピードの調節はできません。

大切な録音を守るには

- カセットのツメを折ると、録音できなくなるので誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。



取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60 以上)
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を開め切った自動車内(特に夏季)
 - 風呂場など湿気が多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。
- 長時間テープについて90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
- 長い間使わなかったときは再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。

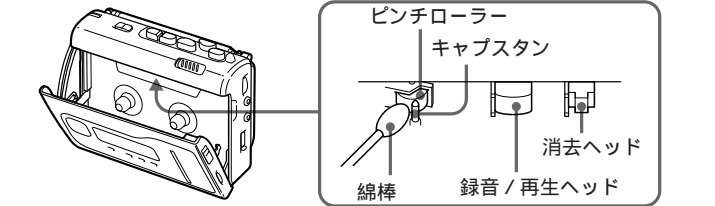
キャッシュカードや定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気に変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

良い音で録音/再生するために

録音/再生ヘッドが汚れてくると、録音/再生音の音質が悪くなったり、録音できなくなることがあります。10時間程度使ったら、ヘッドとキャブスタン、ピンチローラーを別売りのクリーニングキットKK-41などできれいにしてください。



本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな？

修理に出す前にもう一度お調べください。	
症状	原因 / 処置
録音できない。	<ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 カセットが入っていない。 カセットのツメが折れている。→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。 録音 / 再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 接続が正しくない。

ラジオに雑音が入る、音が悪い。	<ul style="list-style-type: none">選局やアンテナの調節が充分でない。 電波が弱い。→なるべく窓際で聞く。
再生ボタンを押しても再生されない。	<ul style="list-style-type: none">テープが終わりまで巻き取られている。

操作ボタンを押しても動作しない。

- 乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。→向きを確認して入れなおす。
- 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。
- ◀一時停止が矢印の方向へずらされている。
- ACパワーアダプターが正しく接続されていない。
- ACパワーアダプターやカーバッテリーコードが本体に差したままになっている。→ACパワーアダプターやカーバッテリーコードがジャックに差してあると、それが優先されるので、乾電池使用時には本体から抜いておく。

スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量が最小になっている。 イヤホンが差し込まれている。
再生速度が遅すぎたり遅すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none">テープスピードつまみが中央以外の位置にある。

音が小さい。音質がよくない。雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">音量が絞られている。 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 ヘッド部が汚れている。→クリーニングする。 カセットテープをスピーカーの上に直接置いていた。(直接置くと音質が劣化することがあります。) TYPE II(ハイポジション)・TYPE IV(メタル)のテープを使っている。
----------------------	---

前の音が完全には消えない。	<ul style="list-style-type: none">消去ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 TYPE II(ハイポジション)・TYPE IV(メタル)テープを使っている。→録音できるテープはTYPE I(ノーマル)のみです。
---------------	--

本体動作中にノイズ(カチカチ音)が入る。

- テープカウンターのリセットボタンが誤って押されている。→もう一度しっかり押しで000にする。
- 停止状態になっていない。→■停止ボタンを押す。

主な仕様

ラジオ部	
受信周波数	TV：4 - 12 ch <p>FM/TV：76 - 108 MHz(1 - 3ch)</p> AM：530 - 1,629 kHz
アンテナ	FM/TV：ロッドアンテナ <p>AM：フェライトバーアンテナ内蔵</p>

テープレコーダー部・共通部	
トラック形式	2トラック1チャンネル モノラル
スピーカー	直径 約36mm、8 1個
内蔵マイク	無指向性フラットマイク
再生スピード	無段階切り換え(+約30% - ー約20%)
周波数範囲	TYPE I(ノーマル)カセット <p>150 - 8,000 Hz (EIAJ)</p>

入力端子	マイク(ミニジャック/プラグインパワー対応)1個 <p>最小入力レベル 0.2 mV</p> インピーダンス 3 k 以下のマイク用
出力端子	イヤホン(ミニジャック)1個 <p>負荷インピーダンス 32</p>
実用最大出力電源	300 mW (EIAJ/DC) <p>DC 3V、単3形乾電池 2本使用</p> DCジャック(定格DC 3V)

最大外形寸法	約91×112×43.7mm(幅/高さ/奥行き)(EIAJ)
質量	本体約 222g <p>ご使用時約 260g(乾電池含む)</p>
付属品	ソニー乾電池R6P (NS) (2) <p>取扱説明書 (1)</p> 保証書 (1) <p>ソニーご相談窓口のご案内 (1)</p>

別売リアクセサリー	<p>イヤホン ME-L82</p> ヘッドイレーザー・クリーナー HE-6C
	<p>クリーニングキット KK-41</p>

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへお買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

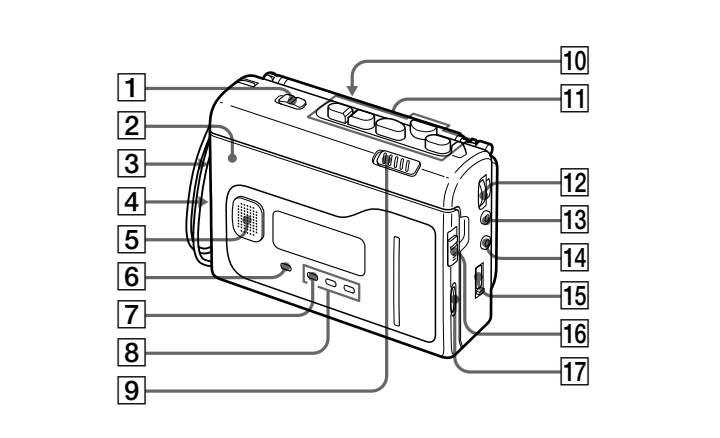
保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

各部のなまえ



- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 音質スイッチ | 10 テープスピードつまみ |
| 2 カセットぶた | 11 テープ操作ボタン |
| 3 ISSスイッチ | ◀◀早送り/キュー |
| 4 DC IN 3Vジャック | ▶▶巻戻し/レビュー |
| 5 Flat Mic (フラットマイク) | ◀再生 |
| 6 ⚡(電池交換)ランプ | ■停止 |
| 7 録音ランプ | ●録音 |
| 8 電池残量ランプ | 12 音量つまみ |
| 9 ◀一時停止スイッチ | 13 マイク(プラグインパワー)ジャック |

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 14 イヤホンジャック | 16 ファンクション切換スイッチ |
| 15 テープカウンター | 17 チューニングつまみ |